

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4619
26年2月6日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

第55回長崎地区労 春闘討論・学習会

おはようございます。

1月31日(土)に長崎地区労会館5階講堂において「第55回長崎地区労春闘討論・学習会」が開催され、支部から山田支部長、佐田副支部長が出席しました。集会は内野地区労副議長の開会挨拶から始まり、続いて主催者を代表して松尾議長は「今年の春闘も賃上げの流れは続くだろうが、物価高が続き、この間の実質賃金は上がっていない。今日の集会では賃上げを要求する春闘について一緒に学習していきたいでしょう」と挨拶されました。

続いて加世田書記長が「2026地域春闘並びに共に闘う諸課題」として、1, 2025春闘地域春闘の経過と総括、2, 2026春闘情勢と地域春闘方針、3, 春闘と共に闘おう」と挨拶。

に闘う課題の3項目に分けて提起されました。最後に、「全ての労働者に物価高に負けない賃上げを勝ち取る。特に中小企業では定期昇給がない職場も多く、春闘での賃上げが大事になってくる。また、ただ働きが横行している職場では残業代の請求や、年休の取得など職場での要求が重要。要求を勝ち取るために地区労は支援していく」とまとめました。

その後休憩を挟み各組合からの報告に移りました。一部抜粋して紹介します。



○長崎県タクシー労働組合

昨年、ラッキータクシィより、料金改定の申請が九州運輸局に提出され他のタクシー会社も申請

する流れになっている。2月13日以降審査に入り、約3か月後には運賃改定が行われる予定。また利用者の負担がふえる。賃金が安く若い人が入ってこない。

最低賃金が上がって給与保障給が上がったが営業収入も上昇し賃金は増えない仕組みになっている。

○長崎バスユニオン

今春闘では、基本給の2.0%+15、600円の19、800円が要求金額で2月1日に要求書を提出予定となっている。

1月31日から減便運行で3月までの予定となっているが、目途がたっていない。神の島営業所の運転手不足を他の営業所から応援をしている状況だが、その日のダイヤを運行できない状況もある。

○長崎市職労

職場の状況では定年前退職が多い、定年前といっても50代ばかりではなく40代の職員も多い。毎月のように退職があるので異動の発令が頻繁に

行われている。年休も取りやすくなり、夏期休暇に關しても3日から5日になるなど改善された点もあるが、メンタル不調者が多い。

市役所では情報漏洩関係で世間を騒がせ、職場がピリピリしている。選挙、マラソンなど自分の業務以外でもやる事が多く、負担になっている。ギリギリの要員配置では不測の事態の対応が厳しい。

○長西総支部

業務量が多く30時間、40時間残業している教員が多い為、学校では、17時以降は留守電にし、教育委員会に対応してもらうようにしている。

新たに担任手当なども創設されたが、他の手当を削減するなど原資はかわらない。人事評価では管理職からのパワハラが行われていて、労働相談がきっかけで組合に入るケースがある。

○長崎県職

昨年は平均で1万賃上げが行われた。若年層に關してはこの5年間で年収が約80万円引き上げられているが、人が入っ

てこない。仮に内定が決まり、離島だと辞退する人もいる。現在89人の欠員状況。欠員を解消して人を入れることをメインに春闘を闘っていく。



郵政ユニオンからも佐田副支部長が、昨年の最低賃金審議会において長崎中野支部の運動で78円の引き上げを勝ち取った経緯を報告しました。

各組合の報告終了後、加世田書記長が、「地区労は地域共闘なので今集会のように交流の場を持つことが大事で、横のつながりで仲間意識を持つことが重要となっている」とまとめられました。集会の最後は松尾地区労議長の団結ガンバローで締めくくりました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に闘おう。

期間雇用社員希望者全員を正社員化を。

めいめい、均等待遇を。

ユニオンは労基法裁判に勝利するまで！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

